

市議会
9月定例会

一般会計補正予算案など
十八議案を可決

市議会九月定例会が、九月四日から十八日間にわたって開かれました。今定例会には、「平成元年度一般会計補正予算案」など予算案十件を含む二十議案が提出され、慎重審議の結果、次回定例会まで継続して審査されることになった六十三年度水道・病院の決算認定二件を除く十八議案が可決され、閉会しました。

一般会計に
五億二、九三八万円を追加

平成元年度一般会計の歳入と歳出に、それぞれ五億二千九百三十六万円を追加して、予算総



水道・病院会計
63年度決算

六十三年度の水道及び病院事業会計の決算認定が今定例会に提出され、次回定例会まで企業会計決算特別委員会で審査されることになりました。収支決算概要は次のとおりです。

- 額は一億四、三三二万円
七千円となりました。
- 歳入** の追加で主なものは、次のとおりです。
- ▽労働福祉会館建設実施設計委託料 八五〇万円
 - ▽ふるさと創生大滝温泉蘇生事業費 一、二六〇万円
 - ・基本計画策定委託料、測量調査業務委託料など
 - ▽私道整備費補助金 三五〇万円
 - ▽除雪関係委託料 六、四〇〇万円
 - ▽道路新設改良工事請負費 五、九六六万円
 - ・道路改良工事費
 - ・舗装新設工事費
 - ▽道路改良用地購入費 三、〇八〇万円
 - ▽都市計画街路用地購入費 三、七九万円
 - ▽小学校施設維持補修工事費 八五〇万円
 - ▽中学校施設維持補修工事費 九〇〇万円
 - ▽長走風穴整備設計委託料 二四〇万円
 - ▽「出川のケヤキ」東屋等建築工事費 一八五万円
 - ▽土木施設災害復旧工事費 二、六一三万円
 - ・河川災害復旧工事 六カ所
 - ▽県支出金 一、八八八万円
 - ▽県補助金 一、五八九万円
 - ▽財産収入 三、一〇七万円
 - ▽繰入金 一、八三八万円
 - ▽繰越金 三億二、〇七四万円
 - ▽市債 二億四、三三九万円
 - ▽市立総合病院負担金 一億円
 - ▽農業基盤整備事業費 一、八四八万円
 - ▽福利厚生施設等補助金 一、七一九万円

水道事業会計の収支決算の概要

◇収益的収支	
収入	9億 447万3,097円
支出	8億6,119万8,536円
差引額	4,327万4,561円
◇資本的収支	
収入	2億7,943万9,560円
支出	5億 918万2,395円
差引額	△2億2,974万2,835円

病院事業会計の収支決算の概要

◇収益的収支	
収入	56億3,860万1,175円
支出	56億5,614万5,692円
差引額	△1,754万4,517円
◇資本的収支	
収入	3億5,397万円
支出	6億2,360万8,170円
差引額	△2億6,963万8,170円

(不足額は過年度分損益勘定留保資金や減債積立金で補てんします)

市長メモ



No.18

畠恭先生の志

県議十一期四十二年余、小畑県政の大黒柱としてその発展に尽力された畠沢恭一先生の命日を五日前にした九月三十日、顕彰碑竣工除幕式が花岡体育館前で関係者多数の参列の中、厳粛に行われました。

政治活動はもとより、県、市の体育協会会長としてスポーツ振興に大きく貢献されました。道目木更生園を手はじめに次々と福祉施設を造り、管理運営され、私たちに「福祉の心」を開いてくださいました。

先生の思想を要約しますと、「信頼」「剛健」「やさしさ」つまり「人間味(生命)」であったと私は思います。

最近はこちらかと言えば、経済中心の物の見方、考え方の時代です。「敵をつくるのではなく、まず己を開け、信じよ」という遺志を、私たちは後世にしっかりと引き継いで行かなければならないと思います。

ご冥福をお祈り申し上げます。

畠沢 恭